

## 第 39 回電気通信普及財団賞 受賞論文 ～テレコム人文学・社会科学学生賞～

<順不同、敬称略>

※受賞者の所属は論文・著作発行時のものです。

### 入賞（賞金 50 万円）

「Information and communication technology use by students with disabilities in higher education during the COVID-19 pandemic」

(Springer, Universal Access in the Information Society, 2023 年 5 月)

岸良 隼人 筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群  
障害科学学位プログラム 博士前期課程 2 年次  
佐々木 銀河 筑波大学人間系 准教授

コロナ禍において大学では遠隔ビデオ授業が主流となった。本論文では、こうした機会を捉えて、障がいのある学生とない学生の遠隔授業に対する困難さや利便性、授業に対する認識の変化をアンケート調査の結果を分析しており、その結果はきわめて有意義である。調査にあたって倫理的な考慮も払われていて、研究成果は今後の大学における遠隔授業のユニバーサルデザイン実現にも貢献すると評価できる。

### 奨励賞（賞金 30 万円）

「地上波テレビ放送局の番組編成差別化と広告価格に関する実証分析」

(公益事業学会, 公益事業研究 第 75 巻 第 1 号, 2023 年 9 月)

渡邊 祐作 神戸大学大学院経営学研究科 博士課程後期課程 1 年

本作は、地上波テレビ番組編成と広告価格に関する実証分析を試みた論文として、評価に値する。ケーブル TV と OTT により、ボトルネック性を喪失しつつあるアメリカ地上波と日本の民放とは状況が異なる。また公表されている視聴率に価格が連動しており、両面市場性がより明確なスポット CM を、より直接的な分析の対象とすることが、今後望まれる。